

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年01月07日

計画の名称	新世紀岡崎 耐震のみち構築計画（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成29年度～平成31年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	岡崎市												
計画の目標	下水道整備を行い、命と暮らしを守る総合的な事前防災・減災を促進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,775	A	3,775	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H31末)
1	管渠の耐震対策実施率を47%（H29）から49%（H31）へ増加させる。 管渠の耐震対策実施率 下水道施設の耐震対策指針に準ずる耐震性能を確認・確保した延長（km）/重要な管路に位置付けられた延長（km）	47%	48%	49%
2	ポンプ場の耐震対策実施率を62%（H29）から87%（H31）へ増加させる。 ポンプ場の耐震対策実施率（その他関連する事業を含む） 下水道施設の耐震対策指針に準ずる耐震性能を確保した施設（箇所）/全施設数（箇所）	62%	87%	87%
3	災害対応トイレ整備率を57%（H29）から65%（H30）へ増加させる。 災害対応トイレ整備率 設置済み避難所数（箇所）/下水道認可区域内の広域及び一時避難所数（箇所）	57%	65%	65%
4	都市浸水対策達成率（1/5規模の整備率）を85.5%（H30）から85.6%（H31）へ増加させる。 都市浸水対策達成率（1/5規模の整備率） 概ね5年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全な下水道整備が完了している区域の面積の割合 = (1/5確率降雨相当の雨水整備完了面積（ha）) / (1/5確率降雨相当の雨水整備を実施すべき区域の面積（ha）)	0%	86%	86%
5	ポンプ場の長寿命化対策実施率を68%（H30）から71%（H31）へ増加させる。 ポンプ場の長寿命化対策実施率（その他関連する事業を含む） 長寿命化対策を実施した資産数/長寿命化計画に位置付けを行った資産数	0%	71%	71%

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（ 合流）	改築	矢作川処理区（地震対策 ）	管渠耐震対策	岡崎市	■	■	■			362		—	
		下水道総合地震対策計画																		
	A07-002	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	ポンプ 場	改築	雨水ポンプ場・汚水中継 ポンプ場	ポンプ場耐震化・改築	岡崎市	■	■	■			240		—	
		下水道総合地震対策計画																		
	A07-003	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（ 汚水）	新設	災害対応トイレ（マンホ ールトイレ）	災害対応トイレ・4箇所	岡崎市		■				30		—	
		下水道総合地震対策計画																		
	A07-004	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（ 雨水）	新設	乙川排水区	雨水管φ700～□2000mm L=5 70m	岡崎市		■	■			470		—	
	A07-005	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（ 雨水）	新設	占部川排水区	雨水管□2200～2500mm L=13 0m	岡崎市		■	■			280		—	
	A07-006	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（ 雨水）	新設	占部川排水区	雨水管φ2600mm L=600m	岡崎市		■	■			1,090	1.45	—	
		下水道浸水被害軽減総合計画																		

A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
		種別	種別	対象	間接		種別1	種別2				H29	H30	H31	R02	R03					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
下水道事業	A07-007	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（	新設	砂川排水区	雨水管φ700～□2200mm L=400m	岡崎市		■	■			470		—		
		下水道浸水被害軽減総合計画																			
下水道事業	A07-008	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	管渠（	新設	六斗目川排水区	雨水管φ1100mm L=10m	岡崎市		■				10		—		
		下水道浸水被害軽減総合計画																			
下水道事業	A07-009	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	ポンプ	新設	六名雨水ポンプ場	処理能力8.0m ³ /s	岡崎市		■	■			520	1.45	—		
		下水道浸水被害軽減総合計画																			
下水道事業	A07-010	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	ポンプ	改築	雨水ポンプ場	ポンプ場改築 8施設	岡崎市		■	■			170		策定済		
		下水道長寿命化計画																			
下水道事業	A07-011	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	—	—	雨水貯留施設助成	雨水貯留（15基/年間）	岡崎市		■	■			3		—		
		新世代下水道支援事業制度水環境創造計画（水循環再生型）																			
下水道事業	A07-012	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	ポンプ	新設	八帖雨水ポンプ場	処理能力25.0m ³ /s	岡崎市		■	■			100	1.13	—		
		下水道浸水被害軽減総合計画																			
下水道事業	A07-013	下水道	一般	岡崎市	直接	岡崎市	ポンプ	改築	雨水ポンプ場	ポンプ場実施設計	岡崎市			■			30		策定済		
		ストックマネジメント計画																			

A 基幹事業																												
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況									
		種別	種別	対象	間接							H29	H30	H31	R02	R03												
		一体的に実施することにより期待される効果																										
		備考																										
																		小計								3,775		
																		合計								3,775		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H29	H30	H31		
配分額 (a)	208	1,006	636		
計画別流用増△減額 (b)	10	0	0		
交付額 (c=a+b)	218	1,006	636		
前年度からの繰越額 (d)	0	52	637		
支払済額 (e)	166	421	805		
翌年度繰越額 (f)	52	637	468		
うち未契約繰越額(g)	0	235	297		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	22.21	23.33		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		地元の合意調整や用地交渉に難航し、不測の日数を要したため	不測の日数を要したため		

事前評価チェックシート

計画の名称： 新世紀岡崎 耐震のみち構築計画（防災・安全）（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
I. 目標の妥当性	
1) 上位計画（知多湾等流域別下水道整備総合計画、全県域汚水適正処理構想）と適合している。	○
I. 目標の妥当性	
2) 岡崎市下水道事業計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性	
3) 関連する他事業（矢作川流域下水道）の計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性	
4) 各種事業計画（総合地震対策計画（H21～H30））が策定され、適合している。	○
I. 目標の妥当性	
5) 各種法令（都市計画法、下水道法等）を遵守している。	○
I. 目標の妥当性	
?地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性	
地域の課題と整備計画の目標の整合が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量式指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性	
1) 目標と指数・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
?事業の効果	
II. 計画の効果・効率性	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	

